令和３年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修　研修レポート抜粋

（誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります）

県央会場

科目　①放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容

◆　放課後児童クラブは子どもにとって、そして保護者の方々にとっても安全で安心できる居場所であるべきだなと改めて思いました。学校や家庭にいる時間よりも長く過ごすこともあるかもしれないので、子どもが楽しんで通い続けられる場所になるように、環境づくりや支援員として人間力を磨きたいなと思いました。また、秋田県の待機児童の数や推移などが分かって良かったと思います。映像で他のクラブの様子も見られて良かったです。

◆　少子化ではあるが、核家族化や女性の就業率の上昇により放課後児童クラブのニーズが高まっていることが分かりました。私が勤務する学童では利用する人数も多く、できるだけ子どもたちに楽しく安全に過ごしてもらえるようにしていますが、人数が多い分ルールも多くなってしまいます。ニーズも高まっていることですし、ゆったり保育ができるように、放課後児童クラブや放課後児童支援員が増えていけばいいと思いました。

◆　放課後児童クラブの目的が児童福祉法で定められていること、子育て支援のニーズ拡大等に伴う法改正の背景や施設の質を確保するための設置基準等について学んだ。研修後には市の子ども条例や子育てプランを読み、職場の運営方針を再確認した。また、準国家資格としての放課後児童支援員の役割や重要性を学び、子どもの安全な遊びと生活の場づくりに、より一層の責任、誇り、そして子どもたちとふれ合える喜びを持って臨みたいと思った。

◆　時世により変化しやすい家庭の環境・形態に伴う放課後児童クラブの在り方の重要性を学んだ。利用者（児童や保護者）がどの地方自治体でも同じように安心して利用できる居場所としての児童クラブが、多様性を持ちながら運営されるためには、すべての運営者と従事者が法や条例の下で目的や役割の重要性を共有しなければならない。児童クラブの運営を安定させながら継続していく必要性を学ぶことができた。

◆　子育てと仕事を両立する家庭と核家族化などの増加により、放課後児童クラブのニーズが高まっていて、待機児童などの不安がなく働き子育てができる社会に向け、放課後児童クラブが重要であることを感じました。本科目では、設備運営基準や設置根拠・目的を学ぶことができ、秋田県内の状況を知ることができました。支援員としてそれを理解し、利用する子どもの最善の利益を考慮しながら育成支援にあたることが大切だと思いました。